

## 地域再生計画

### 1. 地域再生計画の名称

魅力あふれる地域 あすの活力を育む うつのみやのまちづくり計画

### 2. 地域再生計画の作成主体の名称

栃木県、宇都宮市

### 3. 地域再生計画の区域

宇都宮市の全域

### 4. 地域再生計画の目標

宇都宮市は、東京から100km圏内の関東平野のほぼ北端に位置し、北西に日光連山を望み、東部には鬼怒川が貫流する豊かな緑と水に恵まれた自然環境を有している。また、東北縦貫自動車道、北関東自動車道など道路交通網の結節点となっており、自然と交通機能に恵まれた条件のもと、北関東における拠点都市として発展を続けてきた。

工業においては、鬼怒川左岸地域に内陸最大級の広さをもつ清原工業団地をはじめ、宇都宮工業団地など複数の工業団地が立地しており、また、近隣の宇都宮テクノポリスセンター地区には、産業支援施設である「とちぎ産業創造プラザ」を配し、先端・高度技術産業、研究開発型企業の受け皿となる基盤整備を進め、産業構造の変化に対応した良好な生産環境を確保し、産業の振興を図ろうとしているところであるが、特に鬼怒川左岸地域においては、生産活動の集積地として迅速な物流を促進する交通網が不足しており、工業団地から広範囲への交通利便性の高い新たな幹線道路の整備が課題となっている。

観光・レジャーにおいては、県立自然公園内の宇都宮市森林公園に、サイクリングターミナル、少年自然の家などの宿泊施設や遊歩道、登山道などレジャー施設を有しているほか、毎年10月に開催される「ジャパンカップサイクルロードレース」では、臨時バスを運行するなど、多くの来客者が訪れている。また、特異な景観を持つ御止山おとめやまと越路岩こしじいわが国名勝として指定された大谷奇岩群おおやきがんぐんのある「石の里・大谷おおや」などが主な観光地となっているほか、「餃子といえば宇都宮」という食の観光地として定着しつつあり、平成15年から平成17年までの過去3年間における宇都宮市観光入込客数は増加傾向にあるが、宇都宮市の観光・レジャーの拠点地をさらに発展させるためにも、観光入込客数を増やし活性化に繋げていくことが今後の課題である。

農林業においては、鬼怒川を中心に稲作が盛んであり、園芸作物の梨、トマトや椎茸などのきのこ類の生産も行われているほか、北部から北西部においては、杉・ヒノキなどの針葉樹林が植林され林業の生産地になっている。また、北西部にある農林業振興の拠点「宇都宮市農林公園ろまんちっく村」においては、「宇都宮市農林業祭」や「宇都宮さつき&花フェア」などのイベントを毎年実施し、市民及び観光客に農林業体験の場を提供している。しかし、近年、農林業従事者の高齢化及び若年層の農林業就労離れ等により、後継者不足が生じているが、農業については、農作物の生産効率を高めるため、土地改良事業により土地利用型農業の確立を図っているところであり、林業については、外国産材の輸入拡大に伴う木材価格の低迷、生産意欲の低下・生産活動の停滞がみられ、森林の荒廃が進んでいる中、今後の適切な整備・保全を行うため、林業労働者の育成を図るこ

とが重要な課題となっている。

中心市街地においては、行政、経済、商業、サービスなどの機能が集積している。近年、郊外における大型商業施設の立地などにより市民の生活圏が郊外部へと向けられ、中心市街地の人口が減少傾向にある。今後は、公共交通ネットワークの整備を図るとともに、まちづくり交付金事業を利用し、宇都宮城址公園の整備や公共サインの設置、市街地再開発などにより中心市街地の回遊性を高め、都市のにぎわいを再構築し周辺地域と連携を行いながら、居住人口の増加や観光入込客数を増加させ、中心市街地の活性化を図ることが課題となっている。

このようなことから、市民がゆとりを感じられ、明日への活力となるよう工業・商業・農林業をバランスよく発展させ、「魅力あふれる地域 あすの活力を育む うつのみや」をテーマに各地域の特色を活かした宇都宮市の活力向上を図る。

具体的には、中心市街地と周辺地域との人・モノ・情報の地域間交流を活発に行うため、観光・レジャー施設への観光入込客数を増やし、さらなるにぎわいの創出を図り、幹線市道の整備はもとより、東北縦貫自動車道に上河内スマート IC を設け、地域資源、観光資源とのアクセス向上を図るとともに、工業団地等へのアクセス強化により生産・産業地域と消費地域とのネットワークの充実を図る。また、林道整備においては利用区域内の森林を 5 % 整備実施する事で適正管理林の増加と森林機能回復を促し、都市部と農山村間の交流促進、地域生活の質の向上、地域環境改善及び林業等地域産業を活性化する。

#### （目標 1）市街地から各地域間までのアクセスの向上

- ・ 宇都宮上三川 IC から清原工業団地間（走行時間約 3 分間短縮）
- ・ 宇都宮工業団地から鹿沼工業団地間（走行時間約 3 分間短縮）
- ・ 上河内スマート IC から中心市街地間（走行時間約 5 分間短縮）

#### （目標 2）森林整備による地域環境の改善

- ・ 利用区域内における森林整備面積を 5 % 増加

#### （目標 3）観光入込客数の増加

- ・ 宇都宮市観光入込客数を従前値より 5 % 増を図る

#### （目標 4）企業による立地促進

- ・ テクノポリスセンター地区の分譲率 100 % 誘致完了を目指す

## 5. 目標を達成するために行う事業

### 5 - 1 全体の概要

テクノポリスセンター地区や清原工業団地へのアクセス強化による産業活動の振興や、地域資源、観光資源へのアクセス向上を図るため、市道 5340 号線を、国道 121 号から東に延伸し、鬼怒テクノ通りに接続するとともに、宇都宮工業団地から鹿沼工業団地までの流通機能の円滑化を図るため、市道 811 号線を、宇都宮環状道路と産業通りの交差点から鹿沼市境周辺まで延伸する。

東北縦貫自動車道路に上河内スマート IC を設置することに伴うアクセス路として市道 3370 号線、市道 3371 号線を整備することにより、北部地域の林業生産の広域運搬の促進や、ゴルフ、

釣りなどレジャー施設への来訪者の増や、まちづくり交付金による中里原地区区画整理及び周辺と「宇都宮市森林公園」、「石の里・大谷」や「宇都宮市農林公園ろまんちっく村」など観光地及び中心市街地までのアクセス時間の短縮を図り、産業及び物流機能の拡大、観光交流による各地域の活性化を行う。

林業の振興を図るため、羽黒山周辺の林道<sup>やしほ</sup>矢白線の整備を行い、既存民有林の間伐区域を5%拡大し、新たな造林を推進し、森林の適正な整備・保全を実施する。また、災害発生時など、県道小林・逆面線が通行止めになった場合には、県道を迂回し生活物資や医療品等を運ぶことが可能な数少ない道路となる。

このように、効率的な道路ネットワークを形成することにより、現在の観光資源のPRを図り、観光入込客数を現在の約1,360万人(H17年)から約1,430万人(H23年)に増やすことや、流通の迅速化による市内各地域間のネットワークの充実を図ることにより、宇都宮市全体の活性化に繋げていく。

## 5 - 2 法第四章の特別の措置を適用して行う事業

対象となる事業は、以下のとおり事業開始に係る手続き等を了している。

なお、整備箇所については、別添の整備箇所を示した図面による。

- ・市道：道路法で規定する市道に認定済。
- ・林道：森林法による鬼怒川地域森林計画（平成16年樹立）に路線を記載。

### [施設の種類（事業区域）、事業主体]

- ・市道（宇都宮市） 宇都宮市
- ・林道（宇都宮市） 宇都宮市

### [事業期間]

- ・市道（平成19年度～平成23年度）
- ・林道（平成20年度～平成21年度）

### [整備量及び事業費]

- ・市道 2.7km、林道 1.0km
- ・総事業費 1,974,000 千円（うち交付金 982,000 千円）  
（内訳） 市 道 1,944,000 千円（うち交付金 972,000 千円）  
林 道 30,000 千円（うち交付金 10,000 千円）

## 5 - 3 その他の事業

### (1) まちづくり交付金

#### 宇都宮中央地区

- ・ 中心市街地の活性化・交流機能の充実
- ・ 平成17年度～平成21年度

#### JR宇都宮駅周辺地区

- ・ JR宇都宮駅周辺の交流機能や交通機能の強化
- ・ 平成18年度～平成22年度

#### 雀宮周辺地区

- ・ 雀宮駅機能の強化・文教施設の機能集積を図る
- ・ 平成19年度～23年度  
中里原地区
- ・ 高い利便性と周辺環境との調和を図る
- ・ 平成19年度～平成23年度

## (2) 拠点地域における観光事業

拠点地域のイベントについては、広報紙などによりPRを行い次のような観光事業を展開している。

宇都宮市森林公園において、森林ボランティア会員登録制度を創設し、森林公園の市有林を健全な森づくりを進めるため、下草刈、間伐、椎茸駒入れなどを行っている。また、宇都宮市農林公園ろまんちっく村においては、宇都宮市農林業祭、宇都宮さつき&花フェアを開催し、農林業の振興と理解を深めるため、農産物直売や木工教室などを実施している。

また、石の里・大谷<sup>おおや</sup>においては、大谷<sup>おおや</sup>景観公園<sup>けいかんこうえん</sup>を利用し、毎年10月末にシンポジウムや音楽イベント等を開催する「フェスタ in 大谷<sup>おおや</sup>」を実施している。

- ・ 宇都宮市森林公園イベント事業  
森林ボランティア活動 下草刈(7月) 間伐(12月) 椎茸駒入れ(H19.2月)  
ジャパンカップサイクルロードレース(10月)
- ・ 宇都宮市農林公園ろまんちっく村イベント事業  
宇都宮市農林業祭(11月) 宇都宮さつき&花フェア(5月)
- ・ 石の里・大谷イベント事業  
フェスタ in 大谷(10月)

## 6. 計画期間

平成19年度～平成23年度

## 7. 地域再生計画の目標の達成に係る評価に関する事項

宇都宮市は、4に示す地域再生計画の目標について計画終了後に必要な調査を行い、状況を把握・公表をするとともに、達成状況の評価、改善すべき事項の検討等を行う。

## 8. 地域再生計画の実施に関し当該地方公共団体が必要と認める事項

該当なし